

うれしのししゃかいしほんそうごうせいびけいかく
嬉野市社会資本総合整備計画

(第 8 回 変 更)

さがけん うれしのし
佐賀県 嬉野市

平成28年8月

社会資本総合整備計画

平成28年8月25日

計画の名称	9 集約と連携による新しい嬉野市の構築			重点計画の該当
計画の期間	平成24年度	～	平成28年度 (5年間)	交付対象 嬉野市
計画の目標				

「集約と連携による新しい嬉野市の構築」をテーマに、本市が持つ各地域・拠点の個性を発揮しその拠点性を高めるとともに、それらが連携・交流することで生まれる新しい賑わいや活力など、合併後の新しい嬉野市の構築を目指す。

- 集約型の都市構造の構築、地域コミュニティの維持の視点のもと、地域の個性や魅力の創出に向けた拠点づくりを目指す。
- 佐賀県南部の交流拠点、高度医療の中核都市として、また安全な都市づくりとして市内外の道路・交通環境の向上や人と人との交流づくりなど、新しい嬉野市の創出に向けた連携・交流基盤の創出を目指す。
- 将来予定されている九州新幹線西九州ルートの開通を起爆剤として、駅周辺の社会基盤整備の推進や人による賑わいの創出など、継続的なハード・ソフトの取組の推進によるもてなし基盤の形成を目指す。
- 地区拠点を高める事で集約型の都市づくりを進め、加えて生活を支える基盤整備や防災環境を形成することで、安全・安心、そしてうるおいとゆとりある生活環境（定住）の創出を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・「主な交流施設の利用者数」を0人（H22）から45,000人（H28）へ増加 ・市民アンケート調査による「道路・交通環境の満足度」を2.89ポイント（H21）から3.06ポイント（H28）へ増加 ・下水道処理人口普及率を19.7%（H22）から22.0%（H28）へ増加 ・嬉野地区、塩田地区で活動する「まちづくり組織の団体数（新規）」を0団体（H22）から3団体（H28）へ増加 ・市民アンケート調査による「暮らしやすさの満足度」を3.00ポイント（H21）から3.11ポイント（H28）へ増加 			
----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
歴史文化交流拠点（塩田地区：「社会文化会館」）にある「交流施設」の利用者数	0人	45,000人	45,000人	
本市が実施している市民アンケート調査による「道路・交通環境」に対する満足度評価指数	2.89ポイント	2.97ポイント	3.06ポイント	
下水道処理人口普及率（下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)）	19.7%	22.0%	22.0%	
空き店舗対策、景観ガイドラインをはじめ、本計画の推進や嬉野市の新たな賑わい創出に向けて活動する「まちづくり組織」の団体数	0団体	2団体	3団体	
本市が実施している市民アンケート調査による「暮らしやすさ」に対する満足度評価指数	3.00ポイント	3.05ポイント	3.11ポイント	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4742.6百万円	A	4465.5百万円 (うち提案事業 分287百万円)	B	0百万円	C	277.1百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	5.8%
-------	-----------------	-----------	---	----------------------------------	---	------	---	----------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

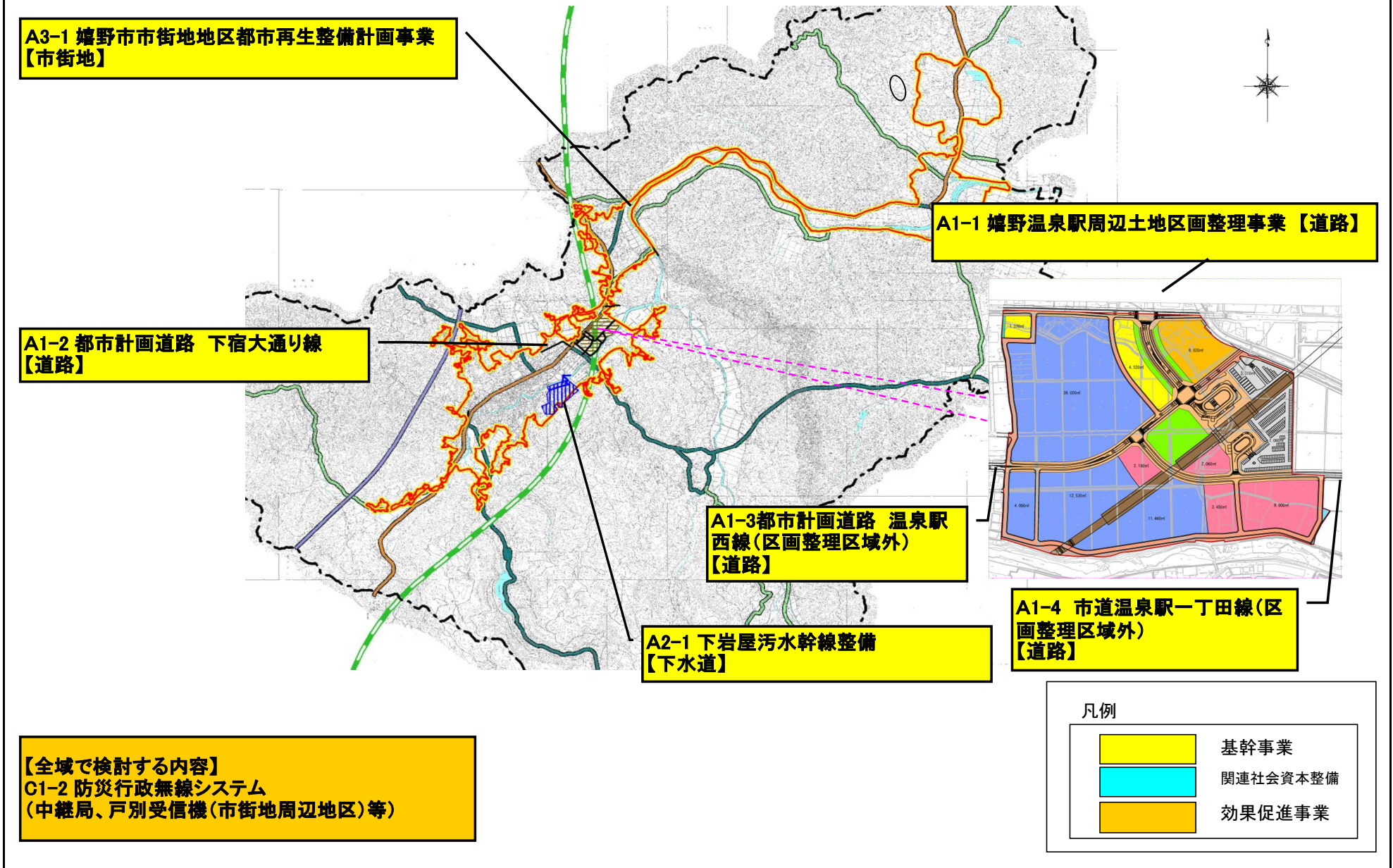
A1 基幹事業（道路）				直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H24	H25	H26	H27	H28		
A1-1	街路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	区画	改築	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業	区画整理 A=14.6ha	嬉野市						378.0	
A1-2	街路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	S街路	改築	都市計画道路 下宿大通り線	W=16.0m L=150m	嬉野市						0.0	
A1-3	街路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	S街路	改築	都市計画道路 新幹線嬉野温泉駅2号線	W=16.0m L=60m	嬉野市						340.3	
A1-4	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	改築	市道温泉駅一丁田線	W=16.0m L=310m	嬉野市						141.2	
											合計					859.5	

A2 基幹事業（下水道）				直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H24	H25	H26	H27	H28		
A2-1	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	汚水	新設	下岩屋汚水幹線整備	L=720m (φ200mm～φ350mm)	嬉野市						83.2	
A2-2	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	汚水	新設	井手川内地区汚水枝線整備	A=10.5ha (φ150)	嬉野市						120.1	
A2-3	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	汚水	新設	下宿第2汚水幹線整備	L=700m (φ150)	嬉野市						44.1	
A2-4	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	汚水	新設	嬉野総合運動公園汚水枝線整備	A=16.1ha (φ150)	嬉野市						71.6	
											合計					319.0	

A3 基幹事業（市街地整備）										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28			
A3-1	都市再生	一般	嬉野市	直接	嬉野市	嬉野市市街地地区都市再生整備計画事業	社会文化会館、中央公園他	嬉野市						3,287.0		
合計													3,287.0			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28			
合計													0.0			
C 効果促進事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	H24	H25	H26	H27	H28			
C1-1	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	井手川内地区小規模汚水管整備	A=2.0ha（φ150mm）	嬉野市						114.1		
C1-2	施設整備	一般	嬉野市	直接	嬉野市	防災行政無線システム（中継局、戸別受信機等）		嬉野市						163.0		
合計													277.1			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C1-1	A2-1～A2-2下水道幹線と接続した枝管整備を一体的に行うことで、快適な生活環境が創出され、うるおいとゆとりある生活環境の効果が発揮される。															
C1-2	A3-1に位置づけられる防災行政無線システム（親局他）と一体的に整備することで、安全・安心が生活環境が創出され、うるおいとゆとりある生活環境の効果が発揮される。															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

(参考図面) 市街地整備

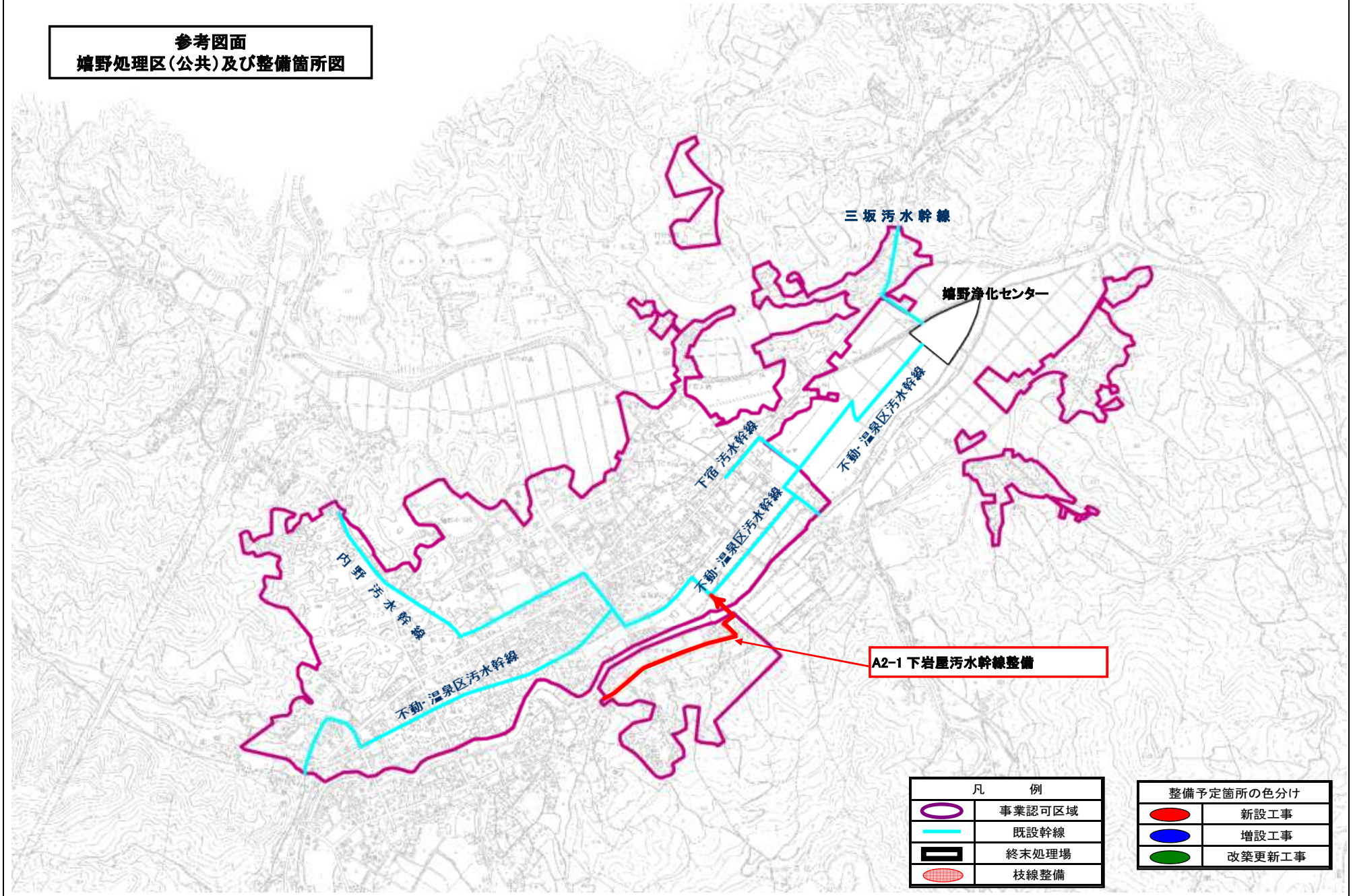
計画の名称	1 集約と連携による新しい嬉野市の構築	交付対象	嬉野市 佐賀県嬉野市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)		



(参考図面)

計画の名称	集約と連携による新しい嬉野市の構築	交付対象	嬉野市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度(5年間)		

参考図面
嬉野処理区(公共)及び整備箇所図



凡 例	
	事業認可区域
	既設幹線
	終末処理場
	枝線整備

整備予定箇所の色分け	
	新設工事
	増設工事
	改築更新工事

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:集約と連携による新しい嬉野市の構築

事業主体名:嬉野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑩地域の協力が見込める。	○
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○